

秋季大会第3位

まずは第3位おめでとう。君たちを誇りに思います。研修大会に敗れ、その悔しさをバネに本当にここまで良く努力しました。その結果、町田市で第3位という素晴らしい快挙を成すことができました。思い返せば5回も成立しない練習試合が続き、精神的にも肉体的にも厳しい中、腐ることなく、ふてくされることなく目の前のワンプレーに集中して頑張ってきました。基礎基本を徹底し、声の出し方を考え、何度もミーティングをし、バットを振り続けました。個々の力、チームの力が徐々に向上していきました。そして迎えた秋季大会初戦では7点差をひっくり返し大逆転勝利を収めました。勢いそのままに2回戦も突破しました。点だった打線が線となりチームの繋がりは更に強固となりました。課題の守備力もお互いにカバーし合い、簡単に点を取られるということがなくなりました。内野手の捕球から送球、外野手の打球感がこの大会を通して飛躍的になりました。そして迎えた準決勝は台風の影響もあり2回戦から約2週間空いて行われました。限られた時間、環境で最高の準備ができました。結果は7回8対2で負けてしまいました。しかし、収穫はたくさんありました。中でも守備のピックオフが成功した時は鳥肌が立ちました。また、ベンチにいた1年生のYが「あれはこうなるのか、すごい」と言ったことがチームの成長を感じました。プレーにはカバリングでしか関わらない外野手がこのような発言をしたことは実際のプレーに自分が入り込んでいる証拠です。一方でベンチの雰囲気は悪くなったものの準決勝の緊張感をみんなから感じました。問いかけへの反応が無い、選手同士の会話が少なく、チャンスを作れない、普段から心掛けていたプラス思考、肯定的な発言が無い、ベンチワークがままならない等、小さなほつれが修復できないまま負けてしまいました。「経験」の差を痛感しました。ここから次の公式戦まではかなり時間があります。少し気が早いですが学年も上がります。この冬が勝負です。心と体を鍛え、経験を積み、常に挑戦者のつもりで頑張りましょう。そして全員で決めた「都大会出場」という目標に向かって頑張りましょう。今日からチームは再編成です。自分にできること、自分は何をしたいのか、どうなりたいのかを常に問いかけながら練習をしてください。すぐに結果はでなくても自分を信じ、仲間を信じ努力をし続けてください。

最後に努力について私の経験談を基に話をして今回の通信は締めたいと思います。今後の生活に必ず生きます。参考にしてください。

努力は必ず報われるとは限らない
しかし、努力をせずに得た結果は長い目で見たら役には立たない
大事なものは節目節目で
「これだけ努力したのだから大丈夫！必ずできる！絶対できる！」
と思いながら挑戦すること
努力と挑戦を繰り返し、自分の歩いてきた道を振り返れば
おのずと成功の多い人生になる

あっぱれ

第16号

編集・発行
顧問 中村 悠太

一心同体！全員野球！